

## 「ワンヘルス県民講座」が開催されました !!

令和6年2月17日（土）、福岡市中央区天神の「アクロス福岡・国際会議場」において、「ワンヘルス県民講座」が開催されました。

この講座は、広く県民を対象として、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」は密接につながり一つのものであるとの「ワンヘルス」の理念の普及・啓発及び「ワンヘルス」の理解を深めることを目的に、福岡県ワンヘルス国際フォーラムの開催にあわせて、九州の自立を考える会、福岡県とアジア獣医師会連合（FAVA）ワンヘルス福岡オフィスの共催で開催されたものです。

最初に、**藏内勇夫**九州の自立を考える会会長と**服部誠太郎**福岡県知事から主催者挨拶がありました。



### 【藏内会長：主催者挨拶】

私は一昨年、アジア獣医師会連合の会長に就任しました。

アジア太平洋オセアニア地域の連合体で40万人の獣医師の会で、23カ国、アメリカも含んで組織を作っております。

福岡県議会と福岡県で推進していただいている「ワンヘルス」をアジアに広めようと、アジア獣医師会連合でワンヘルスに特化した事務所をアクロス福岡に、昨年8月オープンをすることができました。

そのような経緯もあり、本日、一般の方にもこのワンヘルスというものをもっと理解をしていただき、広く県民の方に、特に子供たちにワンヘルスというものを覚えていただきたいという思いもあり、このアクロス福岡で我々と福岡県と共催でワンヘルス県民講座を開催させていただくことになりました。

私は、このワンヘルスというのは、福岡県から発信されたのだということを改めて感じております。

この運動をアジアに広め、そして世界に広めていきたいと思っています。

（一部抜粋）



### 【服部知事：主催者挨拶】

本日は、この「ワンヘルス県民講座」を「福岡県ワンヘルス国際フォーラム」に併せまして、県民の皆様へ、ワンヘルスというものをご理解いただき、そして、自分事として受け止めていただき、皆様方の日々の生活、行動の中で、ワンヘルスというものを実践いただき、考えていただく契機としたいと思っております。

この新型コロナウイルスを含め、我々が今かかっている感染症の6割が動物由来のものであります。つまり、人獣共通感染症であると言われております。こういったことを考えた時に、コロナもそうですが、いわゆる対処療法的な対策も重要ですが、これに留まらずより根本的なことを考えていく必要があると思っております。

このようなことから、人の健康、動物の健康、そして、人と動物が共に暮らす、我々のこの地球の健康、環境の健全性、この3つのものを1つのものとして捉えて、一体的に守っていかなければならない。この取組が、まさにワンヘルスです。

このワンヘルスは、次なるパンデミックへの備えとしても重要なものであると考えます。私は、こういったことからワンヘルスを自分自身の県政にあたってのチャレンジの大きな1つの項目として、掲げさせていただいております。

私は、ワンヘルスの取組を進め、日本のみならず、アジア、そして世界へワンヘルスが推進し、この福岡の地が、ワンヘルスの世界的な先進地となることを目指してまいります。

(一部抜粋)

### 【鼎談】 「ワンヘルス — 初めの一歩 —」



鼎談は、藏内会長を座長に、塩田佳代子ボストン大学公衆衛生大学院アシスタントプロフェッサー、服部知事、「ばりやわとんこつ」の新谷さんと永松さんの5人で行われました。



最後に、ブルーノ・デルコン国連ハビタット福岡本部本部長代理から「ハビタットの取組報告」が行われました。



### 【九州の自立を考える会】

党派や政治理念を越えて、新しい公共政策を考える集団として、平成23年9月に設立され、以来10年以上にわたり国と地方の役割分担のあり方を見直す地方主権の推進や九州の成長戦略策定などを提言（平成26年10月）し、これらを次々に実現。

<https://www.kyushu-jiritsu.jp/>

### 【アジア獣医師会連合（FAVA）ワンヘルス福岡オフィス】

アジア獣医師会連合（FAVA）は、1978年（昭和53年）に設立された、アジア太平洋地域23カ国・地域の連合組織です。

ワンヘルスに特化した事務所として、平成5年8月に、福岡市中央区天神のアクロス福岡に開所。

<https://fof-office.com/>

2024年2月21日  
福岡ワンヘルス協議会・事務局